

## 水郡線常陸大宮駅東西自由通路の供用開始について

JR 東日本水戸支社と常陸大宮市では、「常陸大宮駅周辺整備計画」に基づき駅周辺地域の「魅力と活気あふれる快適なまちづくり」の実現を目指し、東西自由通路および新駅舎整備に向けた計画を進めてまいりました。

このたび、2026年3月24日（火）から東西自由通路を供用開始いたしますのでお知らせいたします。

### 1 デザインコンセプト

常陸大宮市西塩子地区に伝えられてきた「西塩子の回り舞台」をモチーフとした大きな屋根によって、東西自由通路および新駅舎が一体的な場として共存するとともに、地域発展のシンボルとなるデザインとしています。また、地域産材を活用し、地域の魅力を発信できる駅舎を目指しました。

### 2 施設の概要

【市施設】 約1,200㎡

東西自由通路 幅員：約4.5m、延長：約22m

エレベーター2基（15人乗り）

公衆トイレおよびバリアフリートイレ  
待合室（駅東口側）

【鉄道施設】 約520㎡

駅東口側 駅事務室、1番線ホーム改札口

駅西口側 2番線ホーム改札口

※2025年2月1日供用開始済み



### 3 供用開始日

2026年3月24日（火）14：00 予定

### 4 完成記念式典

日時：2026年3月24日（火）10：30～

場所：常陸大宮駅東側

主催：常陸大宮市



※画像はすべてイメージです。